

驛館川水系選定水力地點表

水量ハ測水ノ結果位測水所ノ直上流ニ於ケル用水量等ヨリ推定セリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水 長路	面流 積域	能發 率電	年平均 馬力數	等級
一、三四	津房川	一	大分縣 速見郡 南端村 南端	同 南端村 南端	湯水 三九 低水 三八 平水 五〇	三二七	一〇五三 一三七九 一八一五	一四七〇	二二三	一〇〇〇 九六七	一、四〇 一、三三三	乙

(二) 水力地點ノ説明

順位一、二三四 元調査局地點一、三八二ヲ其ノ儘選定セ
ルモノナリ水路ハ右岸トシ開渠ト隧道トヲ用フヘシ。本
地點ト平行シテ兩岸ニ用水路アリ灌漑期左岸ノモノハ三
個許右岸ノモノハ一〇個許ヲ取入ル。本地點取入口ハ左
岸用水取入口ヨリ少許下流ニアレト右岸用水取入口ノ上
流ニアルヲ以テ之ニ分水スルヲ要ス(地點表流量ニハ之ヲ
控除セリ)

材料運搬等ハサマテ不便ニアラス

第六章 桂川水系

一、流域

(一) 地形 桂川水系ノ流域ハ大分縣西國東郡ニ在リ國東

熊本通信局區内 第六章 桂川水系

半島ノ西頸部ヲ占ム其ノ形狀略三角形ニ近ク東ヨリ西ニ
傾斜シ面積九方里アリ。本流域ノ東北隅ニアル兩子火山
ハ阿蘇火山脈ニ屬スル高峰ニシテ半島ノ中軸ヲナシ幾多
ノ支脈ハ輻射狀ニ延ヒテ多クノ河川ヲ出シ恰モ傘ノ如シ
即チ西走セルモノハ本水系ト廣瀬川トノ分水嶺ヲナシ西
南ニ延ヒタルモノハ田染川ト都甲川トヲ別チ南方ニ向フ
一脈ハ安岐川水系トノ分水嶺ヲナセリ是等ハ何レモ低山
性ノ丘阜ニシテ緩ク流域内ニ傾斜シ水田トナリテ盡ク
南ヲ限レル田原山ノ一帶ハ頗ル峻峻ニシテ田原山、西叡
山、華岳山其ノ主峰ニシテ高距何レモ一、五〇〇尺乃至二、〇
〇〇尺ニ及ヒ熔岩ノ裸出多ク急ニ流域内ニ傾ク川ハ是等
丘陵ノ間ヲ流レ河畔ニ狹長ノ耕地ヲ拓キ屈曲西流シ河口
ニ近ク高田平野ヲ成シ海ニ注ク

(二) 地質 本流域ハ阿蘇火山脈ノ走ル所ニシテ主トシテ

角閃安山岩ノ熔岩或ハ同質ノ集塊岩ヨリ成レリ。南境ノ田原山ハ其ノ熔岩ヨリ成リ山嶺ハ突兀タル十數峰ニ別レ恰モ錐齒ノ如ク鋸山ノ別稱アリ。華岳山西叡山ノ中腹ニハ柱狀節理明カナル熔岩屏風ノ如ク屹立シ山容何レモ雄峻タリ鋸山ノ河畔ニ迫ル所ハ角閃安山岩ノ集塊岩山面ニ露出シ脆弱ニシテ粗鬆ナル部分ハ風化シ堅緻ナル部分ハ骨軸トナリテ峙チ或ハ峭壁トナリ岩柱トナリテ奇景ヲ呈ス河口高田玉津ノ附近ノ平地ハ全部沖積層ヨリ成レリ

(三)林野状態 本水系ノ流域ハ概シテ低山性丘陵地ニシテ山地ハ殆ント民有ニ屬シ松杉扁柏櫟等ノ混淆林點在スレトモ林況良好ナラス水源地ニ松杉等針葉樹ノ植林アレトモ分布面積廣カラス。國有林ハ僅ニ南境ノ華岳山西叡山附近ニ少許アルニスキス農耕地ハ流域ノ上下ヲ問ハス良ク開拓セラレ水田ハ畑地ト相半シ美穀ヲ生ス

(四)氣象 年平均氣溫海岸部ニ於テ一六度餘山間部ニ於テハ一五度許ナリ。雨量ハ上下流共大差ナク年平均雨量一、四〇〇耗餘降雨日數一一〇日内外ナリ

二、河川ノ狀況 桂川ノ本流田染川ハ双子山ノ南麓ニ源ヲ發シ低山性丘阜ノ間ニ細長キ耕地ヲ開キテ南流ス田原村下沓掛ニ於テ田原山ノ連嶺波多方峠ニ出ツル石丸川ヲ

合ス兩岸ニハ水田開ケ戸口多ク美穀ヲ産ス之ヨリ河身ハ西ニ轉シ河床河岸共ニ轉石砂礫ヨリ成リ勾配稍急ナリ然レトモ間モナク集塊岩ノ岩壁河岸ニ峙チ流レハ緩ク山脚ヲ洗ヒテ深淵トナリ頗ル景致ニ富ム同村上野ヨリ川ハ急ニ北西ニ轉シ河畔ノ水田ヲ隔テテ丘陵ニ連ル河床ハ河岸ト共ニ集塊岩ヨリ成リ河床ハ又礫トナリ礫トナリ流勢緩カナリ岩脇ヨリ河内村佐野ニ至ル間ハ河幅十間内外トナリ河床ノ基盤ハ岩盤ニシテ水路ノ如キ淵ナラスハ轉石多キ瀬ニシテ勾配一〇〇分ノ一位ナリ佐野ヨリ川ハ北流シ美和村青宇田ニ於テ支流都甲川ヲ合ス。都甲川ハ兩子山ニ發スル一大支流ニシテ連直セル丘阜ノ間ヲ西流シ本流ニ合ス本流ハ都甲川合シテ流量倍加シ河川大トナリ河岸河床共ニ砂礫ニシテ流勢靜穩ニ勾配緩ナリ

三、水利及治水 桂川水系ニテハ水利事業トシテ著シキモノナク最重要ナルハ用水ナリ流域ヲ通シ水田ハ凡ソ一、八〇〇町歩アリ是等ヲ潤ホス用水ハ所在ニ取入レラル、搬出セラルル木材ハ流下スルコトナク全部陸運ニ依レリ其ノ他製米用水車亦多シ漁業ハ單ニ里人ノ娛樂トシテ漁獲スルニ過キスシテ主トシテ鮎鱧鰻等ナリ

四、水力地點 本水系ハ河川小ナレハ纏リタル水力地點

ヲ得ヘカラス許可地點トシテ田染水力電氣株式會社ノモノアリ即チ流量一五個落差四一四尺馬力數六八九ナリ。右ノ外中流部田染村岩脇ヨリ河内村西村ニ至ル間稍落差アレハ水力地點ヲ取り得ヘキモ流量少ケレハ出力小ニシテ且有利ナラス

テ角閃安山岩ノ熔岩並ニ同質ノ集塊岩ヨリ成ル沿岸及下流安岐附近ハ沖積層ノ平地ナレトモ其ノ周圍海岸地方ハ洪積層ヨリ成ル

第七章 安岐川水系

一、流域

(一)地形 安岐川水系ハ大分縣東國東郡ノ南部國東半島ノ東頸部ニアリ。流域ハ上流部ニ廣ク河口ハ狹ク略三角形ヲナス面積七方里アリ流域内ハ阿蘇火山脈ニ當リ其ノ末端ヲナセル兩子火山ハ高距二、四〇〇尺ニ及ビ半島ノ中央ニ聳ヘ流域ノ北隅ヲ劃ス之ヨリ出ツル支脈ハ輻射狀ニ四方ニ延展シテ漸次低下シ幾多ノ細流ハ是等ノ山地ヲ截開シテ沿岸ニ狹長ノ沖積層平地ヲ形成ス

北東及西ハ兩子山ノ餘脈ニヨリテ分水嶺ヲナシ南ハ田原山ノ連峰ニ扼セラレテ八坂川水系ト界ス高雲山ハ其ノ主峰ニシテ約一、〇〇〇尺ノ高距ヲ有ス

(二)地質 本流域内ハ阿蘇火山脈ノ走ル所ニシテ主トシ

(三)林野状態 本流域内ハ概ネ低山性丘阜ニシテ全面積ノ約七割ヲ占ム是等ハ多ク野草茂レル原野ニシテ沿岸ニ近キ部分或ハ下流部地方ニハ松杉扁柏櫟楠竹等點綴疎在スレトモ分布面積狹ク林況不良ナリ

農耕地ハ本流並支流朝來川、攀川ノ沿岸及河口ノ安岐附近ニアリ水田三ニ對シ畑地一ノ割合ナリ米麥其ノ他藎ノ栽培盛ナリ

(四)氣象 山間寒ク海岸暖ニシテ年平均氣溫一五度許ヨリ一七度ニ至ル。年雨量ハ一、二〇〇耗内外降雨日數一〇〇日内外ナリ

二、河川ノ狀況 安岐川ハ兩子山ノ一脈ニ源ヲ發シ南流シテ朝田村俣水ニ少許ノ耕地ヲ開キ左折シテ丘阜相迫ル間ヲ東流ス西安岐村山浦中村ニテ朝來川ヲ合シ流量稍増加ス川幅五間許河床河岸共ニ砂礫ヨリ成レトモ時ニ岩盤ノ露出セルコトアリ同村山浦ニ於テ攀川ヲ容ル朝來川攀川ハ共ニ兩子山ノ南麓ヲ發スル支流ニシテ沿岸ニ狹長ノ耕地ヲ開キテ南流シ本流ニ合ス其ノ本流ニ合スル所ハ何